

SS MAGAZINE

ガザリン・スタンド

「雪ん子」はIT導入補助金2023の認定ITツールです。

配送管理システム



成功は、決断から始まる。

8月号

コンフィデンスソリューションシステムズ株式会社【ゆきんこサポートセンター】

まずは、



で検索！

社外
参謀

の明日へのヒント!

120年の歴史を持つ中村燃料商店。現在はプロパンガスと灯油の提供に加え、住宅リフォーム事業にも参入し、地元の人々により良い生活環境を提供。環境変化への対応力を重視し、さらなる成長を目指す。



社外参謀
石原 尚幸 氏

中村燃料商店 代表取締役社長
中村 長治 氏

地域に根差して120年
LPG特約店を目指す
強い企業の形とは!?

— 今年創業120年を迎えた中村燃料商店。これまでの歴史を教えてください

初代・中村長次郎が富山県高岡市で創業後、家庭用のプロパンガス、灯油を中心に富山県全域にて事業を拡大してきました。現在は大島、富山、高岡と3カ所の営業拠点を持ち、富山県全域をカバーしています。顧客のメインは家庭で、地域の皆様と共に発展してきた120年企業です。5年前には次世代を担うメンバーを選定し、新しい中村燃料を牽引する「120プロジェクト」を結成し推進しています。

— 120プロジェクトでは何を指し、どのような活動をされているのですか?

120年の歴史を持つことは中村燃料商店の強みではありますが、一方で最大の弱点でもあると考えています。当時から、歴史があるがゆえに組織が硬直化し、新しいチャレンジを生み出すことができないのではないかとこの危機感を持っていました。そこで、120年の歴史にあぐらをかかず、130年、150年と歴史を積み重ねていくために何が必要なのかを考えました。その結果出てきた答えは「強い企業となる」というメッセージでした。

— 「強い企業」とはどんな企業ですか?

2つの意味があります。1つは最も大切にすべき「地

(株)プレジデントビジョン

石原 尚幸 代表取締役



いしはら・なおゆき。1973年生まれ、愛知県名古屋市出身。96年、上智大学経済学部経営学科卒業後、出光興産に入社。京都支店、関東第二支店を経て05年本社・販売部企画課に配属。08年に独立起業し、2012年法人化した。

元」にさらに強くなるという意味。LPGや灯油という家庭に必要な燃料供給を通じて地元の人たちにより良い暮らしを提供し、必要不可欠な存在であり続けたいと考えています。もう一つは「環境変化」に強くなるという意味。エネルギー業界は自由化が完了し垣根のない競争が始まっています。これに加えてコロナ禍、ウクライナ侵攻に

伴うエネルギー価格の高騰と私たちを取り巻く環境は常に変化しています。これからも変化し続けるであろう環境に対応できるだけの営業力と財務体質を持つていこうとの決意をプロジェクトでは掲げています。

「ズバリ、130年企業となるための課題は何でしょうか？」

2020年に私が社長に就任し、120プロジェクトメンバーからも役員を抜擢、新体制となりました。コロナ禍を経てお客様の生活スタイルも大きく変わっていく中で、住宅リフォーム事業にも本格的に参入していきます。地元と環境変化に強い中村燃料として、エネルギーのみならず最適な住宅環境までも提供していきたい中村燃料へと脱皮していきたいと考えています。

社外参謀・石原氏の 考察

100年企業をはるかに超え、130年企業を目指す中村燃料商店。「歴史は強みでもあり弱みでもある」。中村社長の言葉には重みがあります。1919年、東京・鎌倉河岸に日本に初めてガソリンスタンドができてようやく100年あまり。他の産業と比較すれば実は歴史の浅い業界です。それでも、私たちはついつい過去の成功にしがみつきがち。先人たちが培ってきた地元との関係性は大切にしながらも、その歴史に甘えることなく新たなチャレンジを続けていくことが、ここからさらに大きな変化をしようとしている業界の中で生き残っていくために必要なマインドではないでしょうか。

歴史に甘んじることなく変化に挑戦する中村燃料商店。130年企業へ向けてのチャレンジを励みに、私たちも変化へ挑んでいきたいと思えます。